

第9回日本在宅栄養管理学会学術集会

日時：7月17日(日)～18日(祝・月)

【オンデマンド配信】7月25日(月)～8月25日(木)

会場：ホテルライフオート札幌

テーマ：在宅栄養ケアを地域へ拡充しよう—地域の保健・医療・福祉から栄養ケアステーションへつなぐ

プログラム：在宅訪問管理栄養士更新単位セミナー「在宅における食支援—食べるを支える、食べられないを支える」菊谷武(日本歯科大学教授/口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)／公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団特別講演「地域包括ケアシステムの展開—管理栄養士の貢献」田中滋(埼玉県立大学理事長)／特別講演2「介護報酬の改定について」増田利隆(厚生労働省保険局医療課課長補佐)／特別講演3「これからの地域における在宅医療の展望と発展」松家治道(北海道医師会会長)／シンポジウム1「地域共生社会のこれから—管理栄養士による在宅栄養ケアの役割」岡田晋吾(北美原クリニック)、牧野秀樹(つがやす歯科医院)、渡邊紀子(株式会社ライズリング総合施設長)、駒谷末季(北美原クリニック看護師長)、小川豊美(株式会社とよみ認定栄養ケア・ステーションとよみ管理栄養士事務所代表取締役)、齋藤郁子(サンシャイン栄養コンサルタント)／シンポジウム2「栄養ケア・ステーション今後の展開」土島智幸(生涯医療クリニックさっぽろ理事長)、笠松信幸(日本介護支援専門員協会常任理事)、中川幸恵(北海道栄養士会会長)、宮司智子(南大和病院栄養部科長)、

澤田弘子(株式会社クリニコクリニック認定栄養ケア・ステーションEat for a smile)、上野俊(日本在宅栄養管理学会認定栄養ケア・ステーション責任者)／ほか

参加費

【事前登録】正会員・賛助会員 8000円、非会員1万2000円、学部生・大学院生1000円

【当日登録】正会員・賛助会員1万円、非会員1万5000円、学部生・大学院生1000円

【オンデマンド参加登録】正会員・賛助会員8000円、非会員1万2000円、学部生・大学院生1000円

問い合わせ先：第9回日本在宅栄養管理学会学術集会事務局

☎ 03-3981-7281

✉ houeiken@gakusai.co.jp

🌐 <http://jhnms-congre.jp/>

第30回 日本健康教育学会学術大会

日時：7月23日(土)～24日(日)

会場：獨協医科大学壬生キャンパス30周年記念ホールほか

テーマ：伝統と創造—分野を超えた新時代の健康教育を目指して

プログラム：学会長講演／特別講演／教育講演／奨励賞講演／メインシンポジウム／学術委員会・アドボカシー研究会合同シンポジウム／次世代交流セミナー／特別報告／若手の企画／市民公開講座／一般演題発表

事前参加登録・申込受付期間：

【受付期間】～6月22日(水)

【支払期日】6月24日(金)

参加費

【事前登録】正会員7000円 非会員8000円 学生3000円

【当日登録】会員8000円 非会員

9000円 学生4000円

学術大会事務局：獨協医科大学医学部公衆衛生講座

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

☎ 0282-87-2133

運営事務局：株式会社ブランドウ・ジャパン

☎ 03-5470-4401

✉ nkkg2022@nta.co.jp

第50回 JALC 母乳育児支援学習会

日時：7月30日(土)～31(日)

開催方法：オンライン開催(ウェビナーおよびオンデマンド配信)

テーマ：母乳育児—その多彩な魅力の再考

対象：母乳育児を支援する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士、保育士など)以外に、学生その他母乳育児支援に興味のある方

プログラム：

【1日目】

・The International Code: is it enough? (「国際規準」：これで十分か?)【通訳付き】

・母乳分泌の生理学から学ぶ—周産期の現場から母子ひとりひとりとって最善の支援はなにかを再考する

・直接授乳の支援—WHO/UNICEFの新しいトレーニングコースから

【2日目】

・母乳の生化学：基礎的なことから最新の話題まで

・補完食支援の要点

・「卒乳と仕事復帰—“私らしい選択”を支えること」

・Measuring the ‘Lost mothers’ milk’: the economic value of breastfeeding (「失われた母乳」を

試算する：母乳育児の経済的価値)

【通訳付き】

・意見の相違を前進の糧に—支援者／多職種間のコミュニケーション・スキル

参加申し込み：以下 URL から（事前申し込みは6月初旬）

URL <https://jalcn-net.jp>

主催：NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 (JALC)

〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央2-17-3 フリード泉中央203号

✉ ktakahashi@jaic-net.jp

日本地域看護学会 第25回学術集会

日時：8月27日（土）～28日（日）

開催方法：現地会場、オンデマンド配信（～9月16日）

会場：富山国際会議場（富山県富山市）

テーマ：地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション—当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり

プログラム：学術集会長講演「当事者・家族の暮らしの場で生活を護る地域看護」田村須賀子（富山大学学術研究部医学系地域看護学講座教授）／特別講演「地域看護への期待：看護職の自立のために」上野千鶴子（東京大学名誉教授、ウィメンズアクションネットワーク理事長）／教育講演1「『家族の総意』をどう作り上げるか：解決志向型の家族システムアプローチ」柳原清子（長野県看護大学発達看護学講座成人看護学分野教授）／教育講演2「住民主体の共生型地域づくりとAAR循環」堀田聡子（慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授）／教育講演3「今、あらためて働き盛り世代への健康へのアプローチ」大神

あゆみ（大神労働衛生コンサルタント事務所）／教育講演4「ポストコロナ禍の保健師の現任教育」佐伯和子（富山県立大学看護学部地域看護学講座教授）／シンポジウムA「個々のニーズに向き合い対応していくことにより着実に積み上げる保健師活動」利田智恵（富山県中部厚生センター主幹・保健予防課長、保健師）、亀山敦子（富山県立総合衛生学院保健学科長、保健師）、中村美菜子（伊那市役所健康増進課保健係技術主査、保健師）、松下光子（岐阜県立看護大学看護学部地域基礎看護学領域教授）／シンポジウムB「地域でともに生きる」佐藤伸彦（ナラティブホーム、ものがたりの街理事長）、八塚美樹（富山大学学術研究部医学系成人看護学講座教授、富山聞き書きボランティアクラブ代表）、春木加奈（富山市福祉保健部障害福祉課主幹、保健師）／シンポジウムC「地域包括ケアに必要な多職種間の情報共有を支えるICTの利活用」金井秀明（北陸先端科学技術大学院大学知識学系ヒューマンライフデザイン領域准教授）、宮下ゆり（能美市健康福祉部いきいき共生課課長、保健師）、仲井培雄（和楽仁芳珠記念病院理事長）／ほか

参加登録期限：

【前期】 6月30日（木）24時まで
【後期】 7月11日（月）～8月31日（水）24時まで

参加費：

【前期】 会員1万円、非会員1万2000円、学生（大学院生を除く）3000円
【後期・当日】 会員、非会員とも1万2000円、学生（大学院生を除く）3000円

URL <https://jachn25.yupia.net/index.html>

事務局：富山大学学術研究部医学系

地域看護学講座

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

✉ jachn25@med.u-toyama.ac.jp

運営事務局（参加申込、その他全般）：株式会社ユピア

〒456-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町3-21

☎ 052-872-8101（平日10:00～16:00）

✉ jachn25@yupia.net

第53回 日本看護学会学術集会

メインテーマ：変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化

開催地：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

開催期間：9月1日（木）～2日（金）

参加受付期間：6月14日（火）～7月20日（水）

【オンデマンド開催】 11月25日（金）～12月25日（日）

開催地：幕張メッセ（千葉県幕張市）

開催期間：11月8日（火）～9日（水）

参加受付期間：8月2日（火）～9月28日（水）

事前参加登録費：会員9900円、非会員1万4850円、学生4400円

URL <https://www.jnagakkai.jp/>

掲載情報は2022年5月1日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

● ● ●

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp